

防災に女性の視点をー女性と防災ま ちづくり研修事業「決める・動く」



▲「決める・動く2017」受講中の様子



長町地蔵堂町内
会副会長・防災
部長
小笠原千英さん

私は町内会の防災部長として、地域の自主防災活動を行っており、その活動に生かしたいと思って参加しました。私の地域でも女性リーダーが少ないため、女性が意見を伝えやすい環境を作れるよう、コミュニケーションの取り方など、学んだことを地域で実践していきたいと思います。

「決める・動く2017」に参加した方々の声

研修は毎回内容が濃く、仕事に生かせるものも多くありました。自分の強みを生かすリーダーシップの学びもその一つです。その学びを実践していくことで、自分の力や自信になりました。一緒に課題を乗り越えてきた参加者のつながりも、大切な宝物です。



一般社団法人
パーソナルサポ
ートセンター
橋本陽子さん

東日本大震災時、避難所では授乳の場所がない、夜に屋外に出るのが怖いといった声が届かず、困難な状況に置かれた女性が多くいました。災害時にこのような多様なニーズに対応するためには、防災対策の意思決定にも、女性が男性と共に関わっていくことが必要です。

こうした震災での経験を踏まえ、(公財)せんだい男女共同参画財団と市では、防災やまちづくりの場で活躍できる女性リ

ーダー育成のため、平成28年度から女性と防災まちづくり研修事業「決める・動く」を実施しています。今年度はNPOや町内会などさまざまな分野から19人の女性が参加。チームワークや地域の課題解決などについて考える講義や地域での実践を通して、参加者の強みや自信を引き出すとともに、ネットワーキングの後の押しを行っています。研修では、石巻市の復興に奮闘する女性たちとの意見交換会も実施。率先して被災地を引っ張っていくという思いの力強さに、参加者は刺激を受けていました。

修了生は、現在各方面で研修での学びや自身の強みを生かして活躍しています。今後もしリーダーシップを発揮し、地域の力となることが期待されます。

昨年4月から今月まで、さまざまな主体の防災への取り組みを紹介してきました。市では今後、市民一人一人の防災・減災の取り組みを促進し、防災環境都市づくりの推進を図っていきます。

問い合わせ
(公財)せんだい
男女共同参画財団
☎212・1627、
FAX212・1628

ごみ減量・分別の豆知識

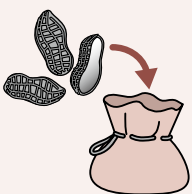
「捨てる前にもうひと働き」



ワケアップ! 仙台

普段はそのまま捨ててしまうものでも、意外な効果を発揮して、「もうひと働き」してくれるものがあります。

例えば、ミカンの皮は電子レンジの掃除に活用。皮をレンジで加熱することで、ミカンの皮の成分がレンジの中に行きわたり、汚れを効果的に拭き取ることができます。また、落花生の殻には除湿・消臭効果があり、殻を細かくして薄い布などに包むことで、除湿や消臭剤として再利用が可能です。



問家庭ごみ減量課 ☎214・8229、FAX214・8277

知って役立つ! ワンポイント防災講座

鍋の季節には卓上コンロが活躍!

寒い季節には、鍋物を食べて温まりたくなりますね。鍋物には卓上コンロの使用がお勧めです。

東日本大震災時は、ライフラインが止まり、温かい料理を作るために卓上コンロが活躍しました。防災用品として備蓄しておくことと便利ですが、普段から使っていないと、災害時には使えないということがあります。

ぜひ、点検を兼ねて卓上コンロを使ってみてください。使用後は、カセットボンベの補充も忘れずに。



問減災推進課 ☎214・3109、FAX214・8096